

21 名古屋西部ソイルリサイクル株式会社

令和4年7月1日現在

設立年月日	平成6年9月5日	代表者氏名	代表取締役社長 松永 元秀		
所在地	愛知県弥富市楠三丁目24番1			電話番号	0567-68-5822
ホームページアドレス	http://www.meiseisoil.com/				
資本金・基本金	200,000千円	市出資・出捐金	82,000千円	(41.0%)	
所管部局	緑政土木局企画経理課			電話番号	052-972-2453
設立目的	資源の有効利用の促進と事業の効率的な遂行のため、建設工事から発生する比較的軟弱な発生土を含む土砂及び付随して発生する路盤材を原料とした改良土及び改良路盤材の製造並びに販売を目的とする。				
主な事業	事業名	令和3年度 営業収益	事業の概要		
	改良土・改良路盤材・調整土の製造・販売	548,153千円	工事現場から発生する土砂・路盤材を原料とした改良土・改良路盤材・調整土の製造販売		
役職員数		常	勤 非 常 勤		
	役員数	2人 (うち市派遣)	0人 (うち市OB)	1人	12人
	職員数	14人 (うち市派遣)	0人 (うち市OB)	2人	0人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		7,000千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		6,022千円
			正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		45.9歳
		令和元年度	令和2年度		令和3年度
市からの財政支出	委託料	0千円	0千円		0千円
	内 随意契約金額	(0千円)	(0千円)		(0千円)
	補助金	0千円	0千円		0千円
	指定管理料	0千円	0千円		0千円
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円		0億円
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	528,909千円	512,243千円		548,468千円
	経常費用	457,445千円	421,045千円		435,793千円
	経常利益(損失)	71,464千円	91,198千円		112,675千円
	当期利益(損失)	45,329千円	61,383千円		85,104千円
貸借対照表	総資産	1,442,665千円	1,487,685千円		1,539,038千円
	内 流動資産	(699,389千円)	(526,774千円)		(377,157千円)
	内 固定資産等	(743,276千円)	(960,911千円)		(1,161,882千円)
	総負債	64,201千円	62,839千円		49,088千円
	内 流動負債	(62,466千円)	(61,104千円)		(47,353千円)
	内 固定負債等	(1,735千円)	(1,735千円)		(1,735千円)
	純資産(正味財産)	1,378,464千円	1,424,846千円		1,489,950千円

経営に関する指標（共通指標）

21 名古屋西部ソイルリサイクル株式会社

○法人の自立性		令和2年度	令和3年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
		令和3年7月1日現在	令和4年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	21.4%	21.4%	0.0%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	85.7%	85.7%	0.0%
○組織運営の効率性		令和2年度	令和3年度	対前年度増減
販売・管理費比率	$\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	13.0%	12.1%	▲0.9%
○財務の健全性		令和2年度	令和3年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	95.8%	96.8%	+1.0%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	862.1%	796.5%	▲65.6%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	67.4%	77.9%	+10.5%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金)	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{-基本金・資本金}} \right)$	1,224,846千円	1,289,950千円	65,104千円

○ 経営戦略計画（R2～R4）の概要

経営戦略方針			
- 改良土、改良路盤材、調整土を質・量ともに安定的に供給するとともに、新規需要の開拓に取り組む。 - 令和元年度に策定した修繕計画に基づき、着実に設備等の補修・更新を進める。 - 効率的な経営を推進し、経営の安定化を図る。 - 社員の能力のレベルアップにより業務の効率化及び安全性の向上並びに製品のさらなる品質向上を目指す。			
主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	3 目標値	3 実績値
各製品が、循環型社会に適応した優れた製品であり、官民の工事の施工に欠かせない有用な資材であることを積極的に広報することにより現顧客の更なる利用を高めるとともに新規顧客の開拓に取り組む。 【公共サービスの充実】	200千トン以上の販売量/年度	207千トン	209千トン
安定的かつ持続的な生産を維持するため、プラントの計画的補修、更新を進める。 【戦略的な設備の補修・更新】	令和元年度に策定した修繕計画に基づき、着実に設備等の補修・更新を進める。	着実な設備等の補修・更新の実施	廃棄物選別作業自動化検討、調整土用ベルトコンベア増設等
将来のプラント等の全面改修の際に多額の債務を負わないよう、財務基盤を強化し、極力自己資金を充てていく必要があるが、それを可能にするために、一定以上の売上高及び純利益を確保する。 【財務内容の改善・向上】	5.3億円以上の売上高/年度	5.3億円以上	5.4億円
	4千万円以上の純利益/年度	4.2千万円以上	8.5千万円
社員の能力を向上させるとともに、労働安全衛生の意識を高める。 【人材力・現場力の強化】	社員能力の向上を図るための全社員参加による社内研修の実施、職場環境の改善	全社員参加による社内研修の実施	全社員参加による社内研修の実施
	労働災害事故件数0	労災件数0	労災件数0